

第85回番組審議委員会議事録

日時：令和2年2月12日（水）13時30分～

場所：富士市民活動センター/コミュニティエフ（富士市吉原2丁目10番20号）

1. 委員総数 10名
2. 出席委員数 6名
3. 出席委員の氏名  
遠藤芳幸委員長・稲葉美津恵 副委員  
和久田恵子 副委員・長橋順 委員  
安藤滋 委員・小岱亜季 委員・(順不動)
4. 放送事業者出席者名  
小沢教司 常務取締役・山本茂 統括部長 2名

遠藤番組審議委員長：ごあいさつ

皆様、ご苦労様です。

今年度2回目の番組審議委員会となりました。

テレビでも連日連夜放送されていますが、新型コロナウイルスが猛威を振るい、日本が今後どの様になっていくか非常に心配です。中には検疫官も感染していて、マスクはしていたが防護服は身につけておらず、対応が軽率だった様です。感染症指定医療機関である中央病院にも何名か患者が運び込まれているそうです。ここでどう感染を阻止できるか日本の力が試されますが、皆さんも是非、お気をつけください。

それではご審議の程、よろしく申し上げます。

小沢常務取締役：ごあいさつ

皆様おつかれ様です。

いつもお忙しい中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。

弊社番組審議委員会への出席ですが、お仕事を優先させていただき、出られる時に出席して頂けると助かります。今季は番組審議委員会が不規則です。4月にもう一度開催する予定です。

今日も忌憚のないご意見をよろしくお願いたします。

## 前のご報告

山本：前回、第 84 回番組審議委員会で審議した木曜夕方番組 LIFE MUSIC 内コーナー「定番アワー」のご報告です。議事録の詳細は、当社ラジオエフ HP 内からご覧いただけます。非常に高い評価をいただき恐縮です。頂いたご意見の中で、地元企業や地元文化を掘り下げるのが面白いのではというご意見がありました。この辺を踏まえ番組づくりに反映していければと思います。ありがとうございます。

## 番組審議

- ・テーマ 年末特別番組  
「ラジオエフ今年最後の生放送スペシャル in 富士山女子駅伝」
- ・放送日時 2019 年 12 月 30 日（月）  
（毎週木曜日 9：45～12：45OA 生放送）
- ・出演 ラジオエフナビゲーター：芹澤ゆみか・千野真紀・濱村菜穂子・渡邊莉奈
- ・番組編成制作方針、説明
- ・質疑応答

山本：今日の審議番組は昨年 12 月 30 日 月曜日に生放送した「ラジオエフ今年最後の生放送スペシャル in 富士山女子駅伝」というタイトルの特別番組です。この番組は皆さんご存じの通り、フジテレビさんが全国ネットで行う実況生中継 TV 番組ではなく、すっかり毎年恒例となった富士山女子駅伝ですが地元、富士市・富士宮市で開催されるという事で地元を盛り上げる為、毎年放送している特別番組です。毎年、手を変え品を変え、駅伝実況番組ではない形で試行錯誤の中、放送しています。特徴として、フジテレビさんの TV 中継をスタジオで見ながらリラックスした雰囲気の中、女子駅伝だけにラジオも女子会というコンセプト・演出で番組構成されています。富士山女子駅伝の解説ではなく、テレビに映る街や沿道の人の応援の様子や、駅伝に関する交通規制情報や観戦ポイントのご紹介などを取り入れながら富士山女子駅伝のスタートからゴールまでを追いかける番組です。毎年、駅伝に詳しい専門家を呼んだり試行錯誤している状態ですので、今日お聴き頂いて、アイデアやご意見をもらえれば、今後の番組づくりにも生かしたいと思います。3 時間と長い番組ですので、間を省略させていただきます。番組オープニングと、スタート直後から 1 区・2 区、最後に 1 位の名城大学がゴールする付近の 3 パターンに分けた部分を続けて 18 分ほど、お聴きください。

約18分後

山本：それでは、ご審議の程よろしくお願い致します。

遠藤：生放送というくくりの中では、新しい感じを受けます。

安藤：にぎやかで良いと思う。色んな事を話すと、どれを聴いていいか少しわからない部分がある。例えばナビゲーター4名がいるなら、それぞれが担当区間をもってナビゲーターも駅伝形式でしゃべるのが良いかもしれない。1区に高砂酒造の話が出ましたがその他もご紹介すると良い。区間ごとのちょっとした話が出るとリスナーにイメージさせやすく聴きやすい。ラジオエフの派手な中継車（虹スタ）を走らせて中継はできないのでしょうか？

山本：富士山女子駅伝についてはフジテレビさんが独占放送している事もあり、現場からの放送はできません。テレビ放送を使い、この大会を盛り上げる事は可能です。制約はありますが、中継となると、人とお金がかかるので現実的に難しい。現状、テレビ中継との兼ね合いでこの様な形にならざるをえません。

安藤：テレビの全国ネットにラジオエフのカラフルな中継車が映ると良いと思います。

山本：何かしらどこか映る所に置いておく事はできるかもしれません。

小袋：富士宮市・富士市の地名や近くの商店名をあげてもらえると、ラジオでも地元の方に今どこを走っているのかわかりやすい。生中継を見ながら説明するのは選手も速く、難しい所がありますが、4人のナビゲーターが一斉に色んな話をするのでこの場所を走っているのかわかりにくい。安藤さんと同じく、区間ごとにメインで話す人を置いた方が良い。楽しそうだと思いますが、ごちゃごちゃして聞きづらい。ラジオしか聴いていない人がいたらわかりづらい。

遠藤：そうですね。テレビと一緒に聴かないとわかりにくい。

和久田：皆さんと同じく、聴きづらく感じる。そもそものコンセプトを教えていただけますか。テレビを見ながら聞くというコンセプトは難しいのでは。フジテレビでは、高橋尚子さん達がしゃべっているのですが、どうしてもテレビに集中してしまう。この番組には情報の正確さが無い。このラジオだけを聴いて理解するのは難しい。根本的な所で恐縮ですが、正確な情報は精査していますか？女子会でしゃべる分には良いが、リスナーに共感してもらうには、どこに誰が走っているのか伝える事が重要。良い点は、富士・富士宮市の交通規制情報・道路状況が入りありがたい。街並みの様子の説明も良い。ここから波及した街の商品の話はすごく良いが、女子駅伝という所の情報の正確さは女子会の話とは別にもう少しちゃんとした情報が欲しい。

遠藤：ありがとうございました。

稲葉：駅伝の応援に関してですが、「先頭は今どこかしら」と話す部分が気になる。テレビを見ていない方は、何の話をしているかわからない。駅伝という感じが全然しない。コースごと担当者を決め、事前取材をして、ここには何がある、ここには何があるという話を織り交ぜる事で今どこを走っているのか面白く、わかりやすくなるのでは。沿道の応援の様子を事細かに伝える事で、臨場感が出ると思う。中にはインターネットで全国から聴く方もいると思うので、富士市や富士宮市の説明を織り交ぜる等、そういう方への配慮も必要。リスナーに伝える工夫が必要。面白い企画だとは思う。

遠藤：企画としては面白いですね。

稲葉：安藤さんのおっしゃる通り、ラジオエフの中継車を見える位置に先回りさせ、テレビにちょこちょこ映らせると、せっかくラジオでも盛り上げているのでラジオエフの宣伝になるかもしれない。

遠藤：ラジオ番組の中で話し、テレビで見つけるのも面白い。

小沢：私の知り合いで毎年この番組を聴いている方がいらっしゃいますが、ごちゃごちゃ騒いでいて聴きづらいというご意見を頂いています。この辺は改善が必要です。

稲葉：区間ごとに担当者を決め、そこに合いの手を入れるのは良い。

小沢：ただしゃべっているだけととらえる人も多い。

遠藤：正直言って、そういう感じはします。

和久田：誰が何番で今、どこを走っているかは全くわからない。要点を押さえる事が必要。

遠藤：山本さんが聞いている範囲で構いませんが、この番組のコンセプトを教えてください。

山本：私はこの番組に関わっていませんが、担当ディレクターからは女子駅伝を囲んだ女子会というイメージ、演出だそうです。誰かの部屋でテレビを観ながらワイワイガヤガヤという感じではないでしょうか。実際この番組を所々聴いていますが、3時間という長丁場ですから、この調子で行くと皆さんと同じ様に正直、きつい部分がありました。この辺は今後の課題だと思います。今回、この様な企画にして、ざっくりばらんで良い部分もありますが、騒ぐだけでなく、駅伝に特化したしっかりした詳細部分は必要。今後どの様に番組に活かしていくかが課題です。

和久田：今回、番組の中で応援メッセージを募集していますが、今聴いた中には出てきませんでした。メッセージは来ていますか？

山本：応援メッセージは来ていて、所々でご紹介しています。

小沢：第1回目の放送の時は、メインナビゲーターが保科紀子さんで、この方はトライアスロンが得意な事もあり、実際の駅伝コースを事前に試走して取材されています。

遠藤：この企画は何回目の放送になりますか？

山本：今回でおそらく6回目の放送です。

遠藤：駅伝自体は7回目ですね。

長橋：私はテレビの生中継を観ながらラジオを副音声的に楽しむというコンセプトならば、すごく楽しくて良いと思う。4人女性が集まれば賑やかで楽しくて良い。

たまにテレビの音を消して、映像と同時に聴いても楽しめる。もちろん、正確な情報が欲しい時は、テレビから得る。こういう使い方をするならば、非常に新しい良い番組。この番組はテレビありきで、このラジオ番組だけを聴くという部分では無理がある様に思う。ずっとテレビの生中継を観ながらという事をもっと前面に出すならば、このままで良いのでは。ざっくばらんに話をして、たまに地元の情報が入ると共感できる。交通情報も何時から何時にどこが規制され、こちらは解除されましたという情報が欲しい。

稲葉：テレビ中継では、走っている選手をメインに写していますが、それ以外に沿道に映る商店や知り合いの方も、地元住民は気になると思う。テレビだけを観ると見入ってしまい、手が止まるので、主婦としては年末の忙しい時にテレビだけを観るのはしんどい部分がある。テレビは映像がありますが、ラジオ特有の聴くだけで沿道の情景が浮かぶ工夫があると良い。

遠藤：ラジオエフですから、地元情報を事細かに出す方が良いのかもしれませんが。

小岱：私は毎年、富士山女子駅伝を録画して観ています。録画しておく、知り合いを見つけた事ができますし、富士ニュースが映るのを毎年期待していますが、この区間だけ今のところ毎年 CM に入ってしまう。吉原商店街のつけナポリタンの区間も残念ながら CM が多い。できれば周辺のお店のご紹介や富士山女子駅伝のジャンパーを着たボランティアスタッフの人数なども事細かに伝えて欲しい。地元の方は、駅伝も応援していますが、それ以上にテレビに映る地元の様子や知り合いも気にしていて、映ると嬉しいと思う。

長橋：この区間では、〇〇ロータリークラブの皆さんが応援していますよとか、テレビでは放送されない裏情報を取り入れると面白い。

小沢：私も自分ではわかりませんが映っていたよと連絡が来ました。

和久田：知り合いがボランティアスタッフをしていてラジオエフを聴いていたそうです。ボランティアの方々は当然、インターネットで調べれば、今どの辺を先頭が走っているのか確認できると思いますが、リアルタイムで情報を得るならば、ラジオからの情報が役立つのでは。今どこを走っているからそろそろこの辺に来るのではというのがわかる位の情報量があれば、ラジオエフの活用方法があると思う。

稲葉：先頭の位置情報が細かくあれば、良いタイミングで外に出て応援する気持ちになる。

遠藤：ラジオエフならではの情報・内容はやはり必要だと思います。

和久田：もちのきと高砂酒造のお話は面白かった。こういう感じで地元商店のご紹介と、しっかりとした駅伝の先頭位置情報を流す場面が交互にあると良い。

安藤：中には、スポンサー様の情報を厚めに放送する部分もありますか？

山本：色々な絡みがあると思いますが、営業関連でスポンサー企業から集めたイベント情報や商品を時系列で厚めにご紹介する事はあると思います。

安藤：この大会を機に、ラジオエフで宣伝して欲しいという商店や企業もあると思います。

遠藤：そうですよね。あると思います。

和久田：番組で放送していた縁起大福を買いに行きたいと思いました。

小岱：テレビに映るであろう沿線の商店や商品、周りの状況をラジオで伝えると良い。

大会当日は吉原商店街でも独自ののぼり旗を作ったり、各大学の応援、ラジオエフの前では大根踊りの大根を配ったりしていたと思います。こういう情報も面白い。

遠藤：私は毎年ボランティアとして出ています。フジテレビの実況中継のアナウンサーは佐野瑞樹さんですが、富士市伝法のご出身です。やはり地元という事でやりがいがあるのではないのでしょうか。

長橋：講演会でやりがいがあると聞いた事があります。

小岱：一年に1回、地元で仲間と野球をするそうですが、やはりこの地元での富士山女子駅伝は楽しいと話していたそうです。

遠藤：この辺の話題もラジオで使えそうですね。

和久田：各大学チームの宿泊先である旅館に話を聞いても面白い。選手のエピソードや食べた料理、監督からこんな檄が飛んだなどの様子も伝えられると面白い。

小岱：大会前、選手がコースを走り合宿する様子が伺えます。事前取材の場があれば良い。

遠藤：プライベートでプライバシーの問題もあるのでこの辺りの情報の出し方には工夫が必要だと思います。地元出身選手のご紹介も良いと思います。

安藤：せっかくの富士山女子駅伝という事で富士山がつくので、以前審議した富士山ネタも混ぜても良いのではないのでしょうか。富士・富士宮市民の気付きにもなる。

和久田：ラジオエフの中継車をどこかに置く話があり、この中継はできないという事ですが、テレビ中継はほぼ先頭集団中心の映像ばかりで中間の映像はなく気の毒。

例えば〇〇大学は何名で来ていて今、何番でがんばっていますよというフォロー情報を地元ならではの観点で伝えられると良い。

安藤：168人も走っていて、何名の方が紹介されるかという所。

遠藤：基本的に駅伝・マラソンの中継はそういうイメージですね。

和久田：地元民からすると、富士市・富士宮市にいらっしゃる選手の応援やその家族をおもてなしするという部分があっても良い。

遠藤：色々良い意見がでました。この辺でそろそろ時間です。

山本：ありがとうございます。今後も毎年、駅伝中継でない駅伝応援番組を放送していく中で、非常に良いご意見をたくさん頂きました。来年・再来年と、良い番組づくりに活かしていければと思います。

遠藤：どうもありがとうございました。

最後に

小沢：今日も忌憚のないご意見を、ありがとうございました。

次回の番組審議委員会は、4月15日（水）13：30からです。

よろしく願いいたします。

山本：以上、本日は、どうもありがとうございました。